

貸借対照表

(2023年12月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	【4,642,603】	流動負債	【2,389,656】
現金及び預金	2,352,886	預り金	31,112
前払費用	25,942	未払手数料	73,479
未収委託者報酬	340,826	未払委託調査費	619,648
未収運用受託報酬	1,623,297	未払委託計算費	6,964
未収投資助言報酬	202,177	未払金	727,878
その他流動資産	97,472	未払費用	83,058
		未払消費税等	339,337
		未払法人税等	72,130
		前受金	57,857
		賞与引当金	376,568
		リース債務	1,620
固定資産	【333,586】		
有形固定資産	157,322	固定負債	【1,081,335】
建物付属設備	123,021	資産除去債務	49,821
器具備品	34,300	長期未払金	1,013,800
無形固定資産	136	長期未払費用	17,714
ソフトウェア	136		
投資その他の資産	176,128		
長期差入保証金	138,106	負債合計	3,470,992
繰延税金資産	38,022	純 資 産 の 部	
		科目	金額
		株主資本	【1,505,197】
		資本金	490,000
		資本剰余金	13,685
		資本準備金	13,685
		利益剰余金	1,001,511
		利益準備金	108,814
		その他利益剰余金	892,697
		繰越利益剰余金	892,697
		純資産合計	1,505,197
資産合計	4,976,190	負債及び純資産合計	4,976,190

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(自 2023 年 1 月 1 日 至 2023 年 12 月 31 日)

(単位:千円)

科 目	内 訳	金 額
営業収益		11,034,722
委託者報酬	1,287,240	
運用受託報酬	8,714,947	
投資助言報酬	556,402	
その他収益	476,132	
営業費用及び一般管理費		10,643,135
営業利益		391,586
営業外収益		3,626
営業外費用		70,887
経常利益		324,325
特別損失		53,875
割増退職金	53,875	
税引前当期純利益		270,449
法人税、住民税及び事業税		55,945
法人税等調整額		△38,022
当期純利益		252,526

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(自 2023 年 1 月 1 日 至 2023 年 12 月 31 日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金		株主資本 合計
		資本 準備金	資本 剰余金 合計		その他 利益剰余金	利益 剰余金 合計	
					繰越 利益剰余金		
当期首残高	490,000	13,685	13,685	108,814	640,171	748,985	1,252,671
当期変動額							
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	-	252,526	252,526	252,526
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-	252,526	252,526	252,526
当期末残高	490,000	13,685	13,685	108,814	892,697	1,001,511	1,505,197
	純資産合計						
当期首残高	1,252,671						
当期変動額							
剰余金の配当	-						
当期純利益	252,526						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-						
当期変動額合計	252,526						
当期末残高	1,505,197						

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項はありません。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、資産運用サービスから(1)委託者報酬、(2)運用受託報酬、(3)投資助言報酬、並びに(4)その他収益を稼得しております。

(1) 委託者報酬

委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき、日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、運用期間にわたり収益として認識しております。

(2) 運用受託報酬

運用受託報酬は、契約で定められた報酬に基づき、確定した報酬を受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、運用期間にわたり収益として認識しております。運用受託報酬には成功報酬が含まれる場合があり、成功報酬は、対象となる特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬が確定する際に、それまでに計上された収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り、収益として認識しております。

(3) 投資助言報酬

投資助言報酬は、契約で定められた報酬に基づき、確定した報酬を受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、契約期間にわたり収益として認識しております。

(4) その他収益

その他収益は、当社のグループ会社等との契約に基づき認識され、当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、契約期間にわたり収益として認識しております。

5. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対し支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

6. リース取引の処理方法

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

7. その他計算書類等の作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

当事業年度の計算書類等の作成にあたって行った会計上の見積りが当事業年度の翌事業年度の計算書類等に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

有形固定資産の減価償却累計額

建物附属設備	79,554 千円
器具備品	50,344 千円

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高

営業取引以外	877 千円
--------	--------

(株主資本等変動計算書に関する注記)

当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式 34,090 株

(税効果会計に関する注記)

1. 繰延税金資産の発生の主な原因別内訳

繰延税金資産

税務上の繰越欠損金	56,359 千円
未払費用	197,882 千円
賞与引当金	115,305 千円
資産除去債務	10,697 千円
長期未払金	310,425 千円
長期未払費用	5,424 千円
その他	17,993 千円
繰延税金資産合計	714,087 千円
評価性引当額	△676,065 千円
繰延税金資産の純額	38,022 千円

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

法定実効税率	30.62%
(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	5.05%
住民税均等割	0.06%
評価性引当額の増減	△27.30%
その他	△2.33%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	6.09%

3. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、当事業年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第 42 号 2021 年 8 月 12 日)に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については預金等に限定し、また、必要な資金についてはグループ会社より調達しております。デリバティブに該当する事項はありません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

当社が保有する金融資産は、主として預金、国内の取引先に対する未収委託者報酬及び未収運用受託報酬であり、取引先の契約不履行によってもたらされる信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、ファイナンス&コーポレート・サービス部において取引先ごとの期日管理及び残高管理を行う体制としております。

未払委託調査費、未払金及び未払消費税等は、短期間で決済されております。未払委託調査費及び未払金には、外貨建てのものが含まれており、為替変動リスクに晒されております。当該リスクに関しては、ファイナンス&コーポレート・サービス部においてリスク管理及び残高管理を行う体制としております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未払委託調査費、未払金及び未払消費税等は、短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

3. 金融商品の時価のレベルごとの内容等に関する事項

2023年12月31日現在、前項にて注記を省略しているため、記載を省略しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の被所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社の子会社	Russell Investments Group, LLC	アメリカ合衆国、ワシントン州シアトル市	-	コーポレートサポート	なし	兼任 0人	業務委託契約の締結	グループ会社間取引の資金決済	823,415	未払金	494,997
親会社の子会社	Russell Investments Implementation Services, LLC	アメリカ合衆国、ワシントン州シアトル市	-	運用執行サービス	なし	兼任 0人	業務委託契約の締結	委託調査費	1,631,387	未払金	120,828

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) Russell Investments Implementation Services, LLC と、直接、資金決済を行っております。なお、取引の内容については、グループ会社との間で合理的な基準により決定しております。

(退職給付に関する注記)

1. 採用している退職給付制度の概要

退職一時金規程に基づく退職一時金制度と企業型年金規約に基づく確定拠出年金制度を採用しております。なお当社が有する退職一時金制度は、簡便法により長期末払金及び退職給付費用を計上しております。

2. 退職一時金制度

(1) 長期末払金の当期首残高と当期末残高の調整表

長期末払金の当期首残高	1,001,162 千円
退職給付費用	110,661 千円
<u>退職給付の支払額等</u>	<u>△98,022 千円</u>
長期末払金の当期末残高	1,013,800 千円

(2) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	110,661 千円
----------------	------------

3. 確定拠出制度

確定拠出制度への要拠出額	47,895 千円
--------------	-----------

(ストック・オプション等に関する注記)

該当事項はありません。

(資産除去債務に関する注記)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

建物の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

物件ごとに使用見込期間を見積り、割引率は使用見込期間に応じた割引率を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

当期首残高	43,517 千円
時の経過による調整額	2,573 千円
<u>見積りの変更による増加額</u>	<u>3,730 千円</u>
当期末残高	49,821 千円

当事業年度において資産除去債務に係る契約の更新があり、使用見込期間が延長し、また、資産の除去時点において必要とされる除去費用が、固定資産取得時における見積額を大幅に超過する見込みであることが明らかになりました。したがって、契約変更時の見積り期間、割引率で資産除去債務を見積り直し、新たに見積額と変更前の資産除去債務残高との調整額として3,730千円加算しております。

(収益認識に関する注記)

1. 顧客との契約から生じる収益を分析した情報

(単位:千円)

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他収益	合計
運用報酬	1,287,240	8,437,457	556,402	476,132	10,757,233
成功報酬	-	277,489	-	-	277,489
合計	1,287,240	8,714,947	556,402	476,132	11,034,722

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

(重要な会計方針に係る事項に関する注記) 4. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額	44,153円64銭
2. 1株当たり当期純利益	7,407円64銭

「1株当たり当期純利益の算定上の基礎」

損益計算書上の当期純利益	252,526千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る当期純利益	252,526千円
普通株式の期中平均株式数	34,090株